



令和5年度 病院長報告会

九州大学病院長 中村雅史

2023年7月19日

1. 中期目標・中期計画

2. 病院経営及び省エネ対策

① 病院経営

② 省エネ対策

3. 病院機能評価

① 概要

② 取り組み事例

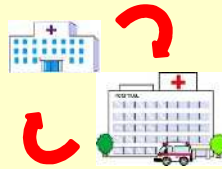
病院長のリーダーシップの下に中期目標・中期計画を策定



診療領域の特徴拡大

- 各領域での価値・存在意義を高める
- 最後の砦としての地域医療をサポート

大学病院の使命と差別化



関連医療機関との連携強化

- 新来患者・新入院患者の増加
- 完結型から分化型を重視した診療体制を構築

医療連携機能の充実



働き方改革への推進

- 病院職員の勤務環境を整備し、超勤を減少することの改善取り組みを検討
- 医師の派遣を含めた医療体制モデルを構築

職員のモチベーション維持・増加



病床の再編

- 各診療領域での需要と共有体制を意識した適正な病床配置を検討
- 診療科の枠組みを超えた病床管理を検討

地域医療構想を見据えた病床対応



疾患別センター化の整理と充実

- 目的の整理、医療資源の効率的な活用
- 院外・院内からみた患者サービスの向上

患者にわかりやすい医療提供



DXによる病院機能の充実

- 診療サポート機能の強化
- 患者のみならず、社会に情報を発信し、先進的な役割を担う

情報イノベーションの対応

関連医療機関との連携強化

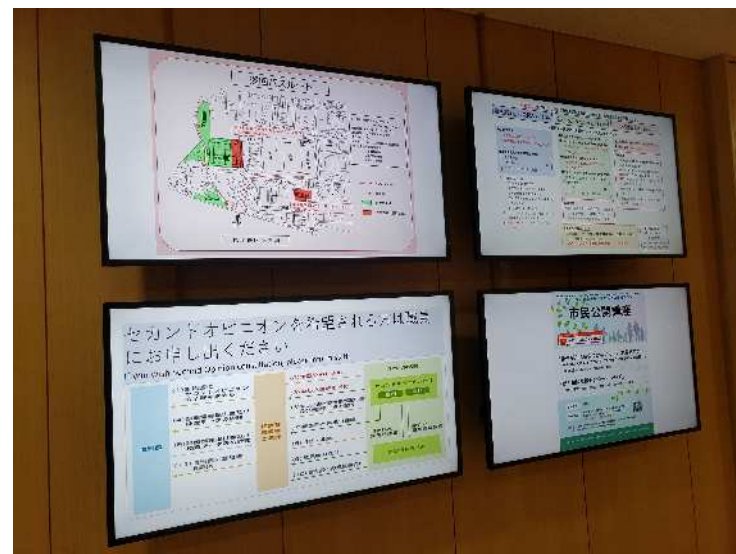
- 連携機関登録制度に関する規程の制定

働き方改革への推進

- 【R5年4月】 連携B水準指定申請のため、評価センターへ資料提出
- 【今後】 追加的健康確保措置への対応（面接指導、勤務間インターバル、代償休息）

DXによる病院機能の充実

・デジタルサイネージの設置



1. 中期目標・中期計画

2. 病院経営及び省エネ対策

① 病院経営

② 省エネ対策

3. 病院機能評価

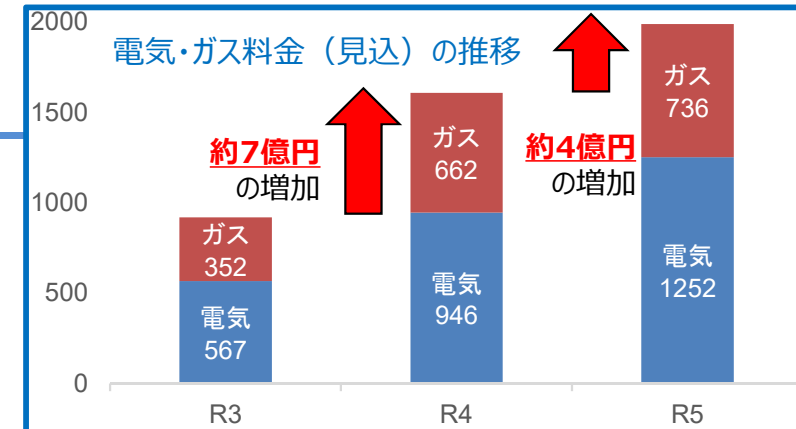
① 概要

② 取り組み事例

近年のエネルギー価格高騰により、九州大学病院においても節電・省エネに関する取組の強化が必要

現在までの取組

- 老朽化した主要設備を高効率の設備へと更新
 - 年次計画において、特にエネルギー使用量が多い熱源設備や、省エネ効果が高い照明設備(LED化)に更新
- 省エネシステムの導入
 - 南棟を対象としたESCO事業にてエネルギー管理システムを導入し、エネルギー使用量の解析を行い各種設備の適正化を行うことでエネルギー使用量削減を実施中
- 啓発活動
 - 毎年、冷房シーズン前に「夏季の省エネルギーの取組」について周知や、省エネパンフレット等の配付を実施



取組の強化

現在までの取組と併せて、病院教職員へ『省エネに関するアンケート』調査を行い、節電・省エネ対策の意見を集約し、病院全体として更なる節電・省エネ対策を診療及び運営に支障のない範囲で病院内に協力依頼予定

1. 中期目標・中期計画

2. 病院経営及び省エネ対策

① 病院経営

② 省エネ対策

3. 病院機能評価

① 概要

② 取り組み事例

病院機能評価とは

病院を対象に、組織全体の運営管理 および 提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学的専門的な見地から評価を行う。

令和3年3月 医療法施行規則 改正

第三者による評価 = 特定機能病院の承認要件

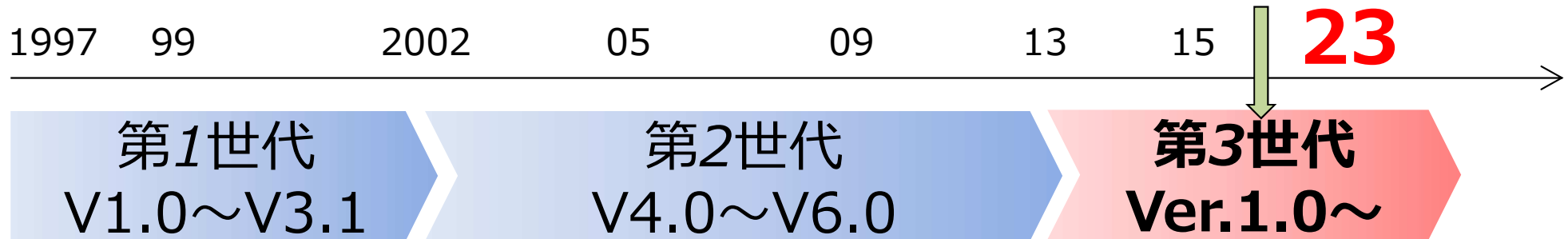


受審は必須

医療法施行規則第9条の20の2第13の2項

特定機能病院における医療の安全の確保に資すると認められる方法により医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価を受け、当該評価及び改善のため講ずべき措置の内容を公表し、並びに当該評価を踏まえ必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

2018(H30)年 Ver.2.0を受審



- 運用調査版を改定し、V.2として本事業を開始。
- 一般病院は種別AとBを設定。
- V.3で、精神と療養機能を領域として導入し、ケアミックス型病院も評価。

- V.4から統合版となり、ケアプロセスという新しい評価領域を導入し、診療内容を評価。
- また、安全に関する評価項目も設定。
- 評価項目の精緻化が進み、項目数がV.5（2005年）では中項目/小項目で、項目数が162/532となり、受審準備の負担過重が指摘され始める。
- 2009年改定のV.6では、評価項目が集約され中項目/小項目で137/352となる。

- 機能種別版の創設
- 評価内容の重点化
- 症例トレース法の採用
- 評価での双方向性の強化
- 評点化ルールの包括化
- 認定期間中の確認

2023年4月
3rdG:Ver.3.0
 運用開始

Ver.2.0とVer.3.0の違い

テーマ別調査の導入

種類	内容
組織ブロック	病院運営
人材ブロック	人材確保、育成・能力評価、労務管理
地域・患者支援 ブロック	地域連携、患者支援
経営ブロック	予算管理、収益管理、支出管理、 経営改善
薬剤テーマ別調査	複数のテーマについて、特手機能病院に 求められる高度な薬剤管理が適切に行わ れているか面接形式で確認

訪問審査の構成（一般病院3）

一般病院3

訪問日数

3日間

訪問病棟数

8病棟以上

【内訳】

- ・病棟概要確認+ケアプロセス調査：4病棟
- ・ケアプロセス調査のみ：1病棟
- ・医療安全ラウンド：3病棟以上(病棟以外を訪問する場合があります)

部署訪問先

31か所

評価調査者
(サーベイヤー) 人数
担当

9名



副機能は、1機能種別につき1名追加（診療または看護）。審査日数は1日目のみ。

訪問審査当日のスケジュール【一般病院3】

	1日目 (8:30~17:30)	2日目 (8:40~17:30)	3日目 (8:40~12:30)
午前	<ul style="list-style-type: none"> □ サーベイヤー事前打ち合わせ □ 書類確認 ※ケアプロセス調査・カルテレビュー症例通知 □ 開始挨拶・メンバー紹介 □ 病院概要説明 □ 組織運営についての説明 □ 面接調査① (1領域・4領域) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 病棟概要確認 (2病棟) ※機構指定 □ ケアプロセス調査 (3病棟) ※機構指定 □ カルテレビュー □ 医療安全ラウンド (3病棟以上) ※機構指定 □ <u>薬剤テーマ別調査</u> □ <u>テーマ別調査 (経営)</u> □ 部署訪問 	<ul style="list-style-type: none"> □ 病院幹部面談 □ 再確認 □ サーベイヤー合議 □ 講評・意見交換
午後	<ul style="list-style-type: none"> □ 病棟概要確認、ケアプロセス調査 (2病棟) ※2病棟とも病院選択 □ <u>テーマ別調査 (組織・人材)</u> □ 部署訪問 □ 再確認 	<ul style="list-style-type: none"> □ 部署訪問 □ <u>テーマ別調査 (地域・患者支援)</u> □ 面接調査② (高難度新規医療技術、未承認新規医薬品、臨床研究等について) □ 面接調査③、④ (医師・歯科医師、看護師の教育・研修) □ 再確認 	<p>※朱書・下線部は、新たな評価方法</p>

1. 中期目標・中期計画

2. 病院経営及び省エネ対策

① 病院経営

② 省エネ対策

3. 病院機能評価

① 概要

② 取り組み事例

**病院経営においては、厳しい状況が続きますが、
まずは病院機能評価を乗り切って、
当院が掲げている目標・計画に、
着実に取り組んでいきたいと思えます。
皆様のご協力を
どうぞよろしくお願いいたします。**